

住民自治協議会だより

第17号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

28年度「生き生き小田切 みんなでトーク」開催

2年ぶりのみどりのテーブル「生き生き小田切みんなでトーク」は、9月17日(土)午後2時から改善センターで開催しました。市より加藤久雄市長、関係部長はじめ6名が出席し、小田切地区の参加者は70名でした。

提案議題

議題1 富士の塔遊歩道への案内板設置と景観の整備について

26年度提案で危険箇所は整備されたが、遊歩道案内板、距離標識などの標識板の設置や頂上の眺望が年々周辺樹木で狭められており、支障木の伐採等で景観の確保をお願いします。

回答要旨 現状の利用状況を踏まえ、必要箇所や優先順位を確認しながら整備する。支障木は、地元の皆さまの協力を得て取り組みます。

議題2 小田切地区内の道路案内表示板等の設置について

地区内の施設案内について、幹線道からの入口・通過する集落名・分岐地点の進路標識板など、走行中でも確認できる表示板設置をお願いします。

回答要旨 平成16年度までに、地点名標識30か所、案内標識43か所が設置済。案内標識等の新たな設置は、周囲の標識設置状況を勘案し検討します。

自由討議

討議1 中山間地域の交通再編モデル事業について

中山間地域の交通再編モデル事業で路線バスの見直しなど検討され、小田切でも意見集約を行っているが、住民の声をよく聞き納得できる輸送体制の再編を望みます。

回答要旨 アンケートや懇談会で地区内の意見・要望を聞いている。本年度中に再編計画を決定し29年度中の実証運行を考えている。その後見直ししながら利用しやすい公共交通の維持継続に努めていきます。

討議2 市道の幹線道路の改良について

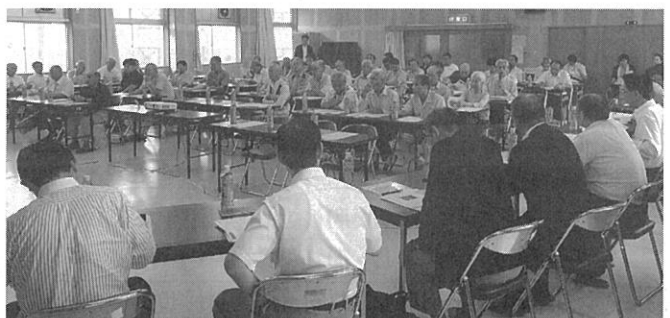
市道矢平保玉線は主要幹線道路であり、下宮区の改良は完了したが上宮区内はストップしており改良促進をお願いします。

回答要旨 道路整備は大変遅れているが、現在測量を計画している。緊急を要す狭い所や危険な箇所を中心に改良するよう方策を検討します。

討議3 長野市防災マップについて

小田切の避難所は1か所だけだが、避難勧告の場合収容しきれぬか。旧市はほとんど避難所の整備が進んでいない状況であるが伺います。

回答要旨 土砂災害に不適切避難所もたくさんある。今年見直しをかけており少し時間がほしい。避難所は全員逃げなさいと言うわけではなく、西部中学や安茂里の体育館とか近くへ行くということで、前もって決めておいて下さい。



28年度 小田切地区自主防災訓練



小田切地区自主防災組織連絡協議会は、11月20日「小田切地区自主防災訓練」を約110名参加で実施しました。早朝、大雨による土砂災害警戒情報が発表され、小田切地区全域に避難勧告が出たことを想定。午前8時に災害対策本部設置のため、対策本部役員を招集しました。

今年度は8月2日と9月20日に長野地区に土砂災害警戒情報が発表され、9月には安茂里地区と中条地区に避難勧告が出されました。このような近隣地区の実例もあることから、今年度は実際の災害対応として、住民の緊急避難誘導時の安否確認と避難行動要支援者の救護体制確認を重点に行いました。

更に緊急時連絡体制手段として、各区に配備されている無線機の交信状況確認と取扱い訓練を消防小田切分団の協力を得て行い、また、安茂里分署による応急手当、消火訓練、煙体験も実施しました。

各区防災会は避難経路や避難場所を状況判断の上行動し、最終避難場所の青少年錬成センター分館（旧小田切小学校）に避難しました。各区防災会は住民状況を組単位で把握し、防災避難体制の見直しを図って下さい。



無線通信訓練



煙体験訓練

小田切、七二会、中条三地区交流会議 小田切地区で開催

恒例の三地区交流会が11月18日、小田切公民館で開催されました。今年度の研修会テーマは、三地区の地域おこし協力隊の皆さんによる活動事例報告を行いました。また、これに先立ち竹内市民生活部長から「長野市中山間地域の振興策」についての講演がありました。

参加者は65名で、小田切地区からは26名が参加。交流会は改善センターに場所を移し、各地区の現状や活動など意見交換をしながらの懇親会となりました。次年度当番は七二会地区となります。



小田切地区 民生児童委員会の役員改選

役員	氏名	担当
会長	齊藤 裕 (国見)	国見・中組区
副会長	滝澤 了吉 (弘伝)	下宮・上宮区
〃	塩入 雅子 (花上)	主任児童委員
会計	原山 希子 (西久保)	主任児童委員 (新任)
委員	近藤裕一郎 (上深沢)	深沢・吉窪区 (新任)
〃	西山美佐男 (小野平)	上山・下山・千木区 (新任)
〃	青木 進 (裾花)	地蔵平・裾花区 (新任)

任期は平成28年12月1日～31年11月30日

長野市農業委員の改選

国の「農業委員会等に関する法律」改正（平成28年4月1日施行）に伴い農業委員の選任方法が変更され、選挙による公選制から議会の同意を得て、市長が任命する選任制になりました。また、「農業委員」とは別に「農地利用最適化推進委員」が新設されました。小田切地区の長野第一区域は、「農業委員」3名、「農地利用最適化推進委員」6名となります。

小田切地区は8月18日「農地利用最適化推進委員」推薦会を開催し、酒井昌之現長野市農業委員を選出し推薦しました。任期は平成29年3月2日から3年間です。

第2次地域福祉活動計画策定委員会が発足

平成23年度に「小田切地区地域福祉活動計画」が策定されて5年が経過しました。今年度、第2次地域福祉活動計画策定委員会を発足させ、第1回会議を28年9月5日に開催し、



見直しと新たな地域福祉活動計画の策定を進めています。新活動計画は29年3月策定されます。

委員会役員

委員長	松本 清子 (前策定副委員長)
副委員長	関口 宜桁 (住自協副会長)
〃	原田 節子 (〃)
〃	寺尾恭四郎 (〃)
相談役	池田 光揮 (住自協会長)
〃	山上 健一 (前策定委員長)
委員	各区福祉委員他

28年度 支所発地域力向上支援金事業 3団体決定

今年度の支所発地域力向上支援金事業は、4団体より応募がありました。9月26日に選考委員5名による審議の結果、3団体への支援が決定しました。支援金総額は50万円です。

1	「小田切エゴマプロジェクト」 塩入貞一 代表 補助金 238千円	下宮野尾区 無及平地区「エゴマ栽培」 荒廃化農地を防ぎエゴマを栽培しているが、乾燥用ハウスのビニールや足踏み脱穀機等を購入する。
2	「湯山若妻劇団」 山口明子 代表 補助金 149千円	国見区 湯山地区「湯山若妻劇団公演用機材整備」 昔話を方言劇で演じ、公演依頼も多くなり音響設備の不十分を感じてワイヤレスマイクを購入する。
3	「NPO法人小田切オアシス」 酒井昌之 理事長 補助金 132千円	「小野平の市民菜園管理棟の整備事業及びテント購入」 3年目を迎えた市民菜園で、管理棟の未完成部分の内装追加工事とイベント用テントを購入する。

住民自治協議会地域間交流事業 秋の三輪地区交流会

「ひまわり広場」野菜広場に出店 10月30日(日)

三輪公民館周辺で開催された秋の祭り「ひまわり広場」に参加。小田切地区は野菜広場に出店し、地区の皆さんの新鮮なキャベツ、リンゴ、米、芋・豆類等を販売し、あっという間の完売で大変好評でした。

「まちづくりのつどい」発表会に参加 12月3日(日)

三輪地区内4校の教育活動発表会に参加し、小田切からは青少年錬成センターの施設紹介を福澤センター長が行い、皆さんに知ってもらう良い機会となりました。その後の交流昼食会に17名が参加、両地区一層の親睦を深めました。



野菜広場

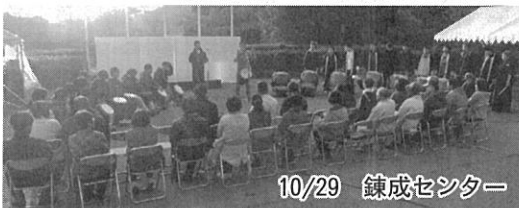
長野翔和学園の小田切タイム

長野翔和学園校長 小嶋 瑞紀

私たちが小田切で初めて合宿を行ったのは平成26年12月でした。この年は珍しく大雪で60cm以上の雪の中での1週間となりました。でも地域の皆様や錬成センターの皆様のご温かさが私たちの活動を支えてくださいました。

そして、翌年からは年間4回の合宿と週1回の校外学習を錬成センターの分館を拠点に展開することになりました。お借りした畑で野菜を作ったり、露天風呂を設置したり、皆様との交流会をしたりと小田切での学習をたっぷりと楽しませていただきました。昨年は交流会を発展した形で「文化祭 in 小田切」という活動にまで広げることができました。

もちろん今年も小田切での教育活動を進めてまいります。私たちにとって小田切での活動は最高の楽しみであり、皆様との交流会は最高の喜びです。今年もぜひ学生たちを応援していただきたくお願い申し上げます。



10/29 錬成センター

信州大学 28年度地域戦略プロフェッショナル・ゼミ「中山間地域の未来学Ⅲ」 小田切地区内で開催の講座

信州大学 産学官連携・地域総合戦略推進本部 新 雄太

プロゼミとは、信州大学が平成26年度から開始した、信州の地域再生や活性化に関心をもつ多世代・多領域にわたる方々とともに、地域を未来へと繋ぐための「課題解決知」を学ぶ場です。北信地域で開講している「中山間地域の未来学」は、これまで七二会（第1期）と信更町（第2期）で実施してきました。3年目の本年度は、小田切地区を舞台に全15回の講座を展開しています。県内から選抜された17名の受講生が10月より様々な視点で小田切地区にて学ばせていただいています。

まず、10月22～23日の2日間に渡る合宿講座からスタート。国・県・市・地区の各行政体から課題と取組について事例紹介。そして国見集落に入り、5つのテーマごとに集落を観察し、大きな解地地図を錬成センターで一晩かけて作成。修生も駆けつけ夜更けまで討論会にも。続く11月5日には、小野平・日方・麻庭・吉窪の4集落へ班ごとに出向き、「聞き・描き」を実施。この地に伝わる無形の伝承をヒアリングして紙芝居に仕立て上げ発表。昼食には、ぶっこみ・おはぎ等の郷土食をたらふく頂戴しました。11月19日には、久保集落の全民家を穴があくほど観察し、民家の構成や規模を自らの身体で測り、立体模型で表現する講座を実施。最終的に下宮野尾公民館の天井から集落の全民家の白模型が吊るされた姿は圧巻でした。そして晩秋の12月3日は、深沢区にて神様と米づくりの講座。地元先生に教わりしめ縄づくりと、深沢区の4集落（上深沢・平深沢・下深沢・平林）を実際に見て歩きヤマ・ノラ・ムラそれぞれで多様な神様に出会いました。2月18日には、本学工学部にて小田切地区に向けた事業提案の発表会をグループごとに行います。



10/22 国見区 ムラ歩きポイントの説明



11/19 下宮区 空間に浮かぶ久保集落模型



12/3 深沢区 下深沢地下稚蚕飼育所見学

NPO小田切オアシス市民菜園閉園式



12月24日 手打ちそば試食会

腰掛け寄贈 荒井静雄老朽副会長(湯山) 12尺杉丸太



小田切運動場とゲートボール場



10月16日 有楽町駅前広場

JC「長野市移職住フェア in 東京」へ参加



1月13～17日 体育館前

5日間連続降雪 積雪59cm

やまびこ

信州大学の地域戦略プロフェッショナル・ゼミ「中山間地域の未来学Ⅲ」の講座が小田切地区で開催されています。最終回の一般公開講座では小田切地区への事業提案がされます。提案は次号で紹介します。新年恒例の各種正副団体長会が2月4日～5日に湯田中温泉で開催され、来賓4名を含め32名が参加しました。当番は総務・安全防災部会消防小田切分団から福祉・健康部会に引き継がれました。